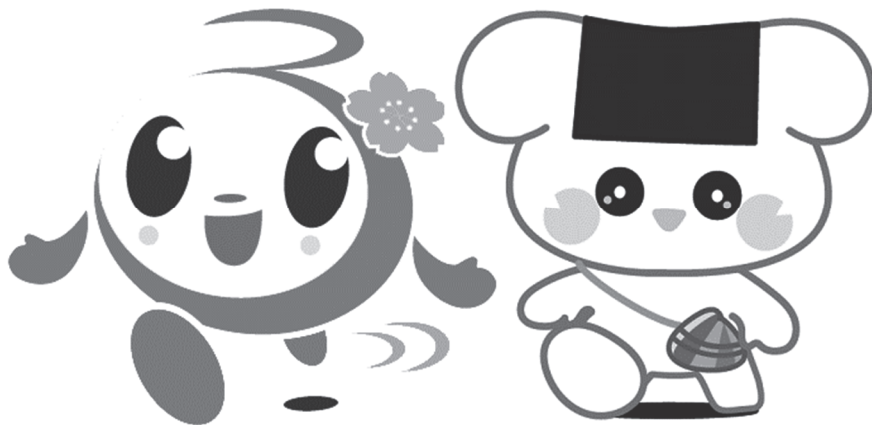


いきいきふっつ障がい者プラン

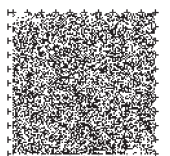
第6期障害福祉計画(第2期障害児福祉計画)

【令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)】



令和3年(2021年)3月

富津市



いきいきふっつ障がい者プラン 概要版について

■いきいきふっつ障がい者プランの策定趣旨と計画期間

いきいきふっつ障がい者プラン第6期障害福祉計画（第2期障害児福祉計画）」（以下、「いきいきふっつ障がい者プラン」といいます。）は、「いきいきふっつ障害者プラン第5期障害福祉計画（第1期障害児福祉計画）」の計画期間の終了に伴い、その成果をさらに発展・深化させるために策定するものです。

いきいきふっつ障がい者プランの計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）までの3年間です。

■Uni-Voice コードの表記について

本計画書では、視覚障がいのある方のために、文章などの文字情報をバーコード化し、スマートフォンを通じ音声を聞けるようにする「Uni-Voice コード」をページ下部に記載しています。

■「障害」と「障がい」について

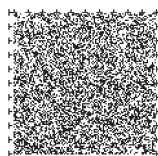
「障害」という表記について、「害」という否定的なイメージを考慮し、原則として固有名詞や法令等を除いて「障がい」と表記します。

■計画値等の単位について

本計画書に記載している目標値の単位の意味は次のとおりです。

「人/年」…1年間当たりの参加者数等の人数を表します。

「回/年」…1年間当たりの開催回数を表します。



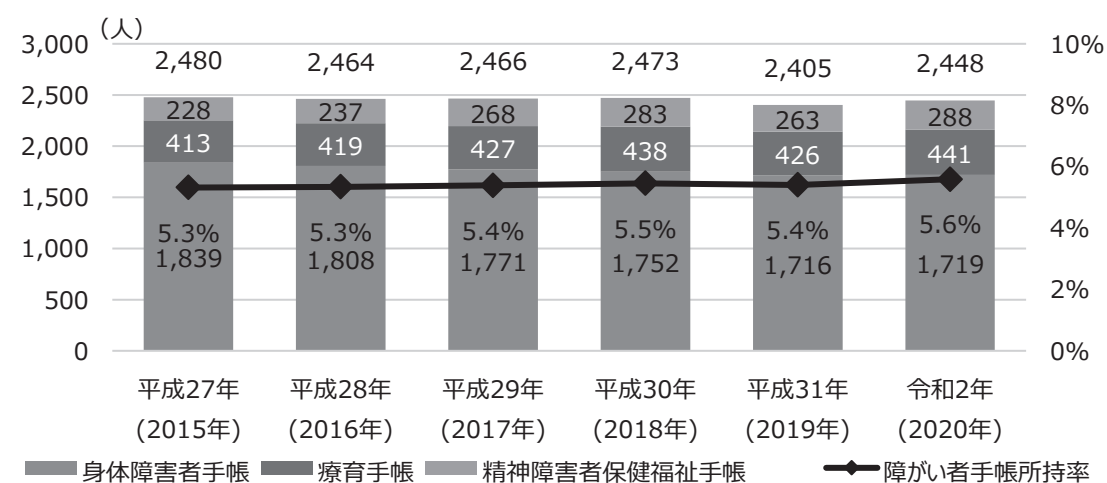
富津市の障がい者人口等の概況

障がい者手帳所持者数の状況

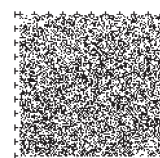
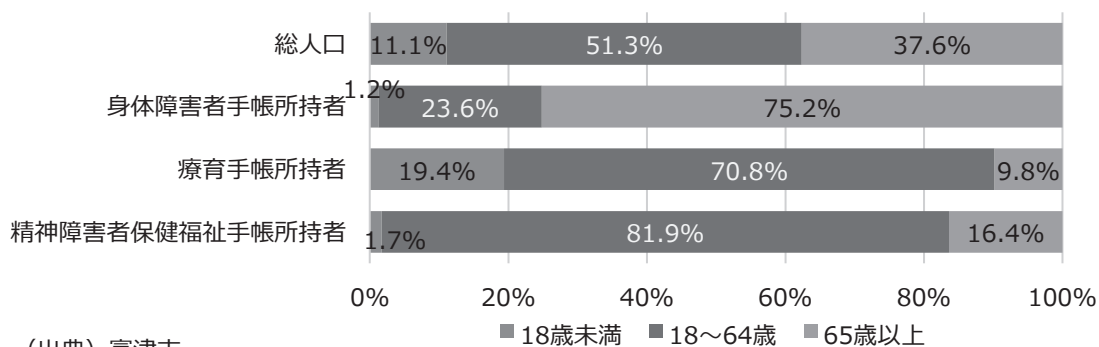
障がい者手帳を持つ人の全体数は、令和2年（2020年）は前年より1.8%増加し2,448人となっていますが、この5年間でみると1.3%減少しています。しかし、総人口に占める障がい者手帳の所持者の割合は、総人口の減少割合より障がい者手帳所持者の減少割合が低いことから、増加を基調として推移し、令和2年（2020年）には5.6%となっています。

また、年齢階層別にみると、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者は65歳未満の割合が80%以上となっているのに対し、身体障害者手帳所持者は65歳以上の割合が75.2%と、高齢化が際立って進んでいることを示しています。

【障がい者手帳所持者の推移】



【年齢階層別障がい者手帳所持者の状況（令和2年：2020年）】



医療費受給者証所持者数の概況

指定難病医療費助成制度受給者数は、平成 30 年度（2018 年度）までは減少を続けてきましたが、令和元年度（2019 年度）には、前年度より 3.9%増加し、348 人となっています。また、自立支援医療（精神通院）受給者数は、精神障害者保健福祉手帳所持者を上回る 650 人以上の水準で推移しています。

【指定難病医療費助成制度受給者数推移】

（単位：人）

項目	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
受給者数	390	397	348	335	348

（出典）君津健康福祉センター事業年報各年度版

【自立支援医療（精神通院）受給者数推移】

（単位：人）

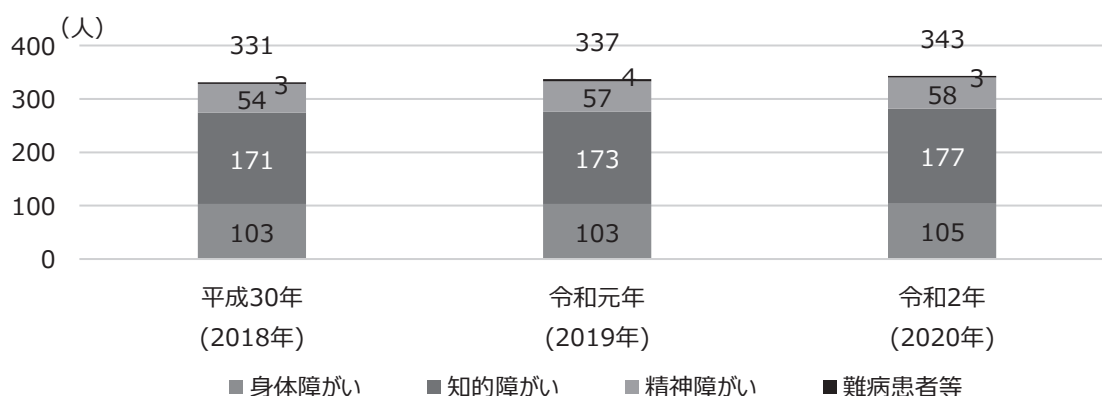
項目	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)
受給者数	658	675	653

（出典）富津市

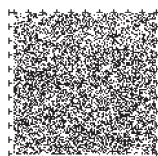
障害支援区分認定者の状況

障害支援区分認定者数は、この3年間で年平均2%の割合で増加を続けており、令和 2 年（2020 年）は前年よりも6人増の 343 人となっています。内訳は、知的障がいが全体の 52%を占めており、その割合は近年ほぼ一定で推移しています。また、身体障がい、精神障がいの比率もそれぞれ 31%、17%で、こちらもほぼ一定で推移しています。

【障害支援区分認定者の推移】



（注）各年とも6月30日現在。（出典）富津市



基本理念と施策体系

基本理念

障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち

障がいがある人もない人も、すべての人がともに生き、お互いが支え合う一人の人間として人権が尊重され、自分が望む自分らしい暮らしを営むことができ、ライフステージや障がいに応じた生活や社会参加ができるようなまちの実現を目指します。

基本目標

基本目標1

地域での生活を総合的に支えます

高齢化や障がいの重度化・多様化が進む状況に対応し、障がいのある人が地域の中で一生を通じ安心して心豊かに暮らすことができるよう、保健・医療・福祉などの総合的な連携のもとに地域での自立した生活を支援するための施策を一体的に推進します。

基本目標2

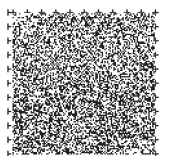
多様な支援で社会参加を支えます

誰もが「ともに学び、ともに働き、ともに地域で暮らす」ことができることを基本に、障がいのある子どもの教育・療育体制の充実から地域自立生活の柱となる就労の促進に至るまで、障がい特性やライフステージに応じた重点課題を設定し、一人ひとりの自立と社会参加を支援する施策を一体的に推進します。

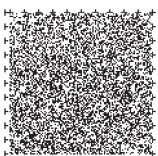
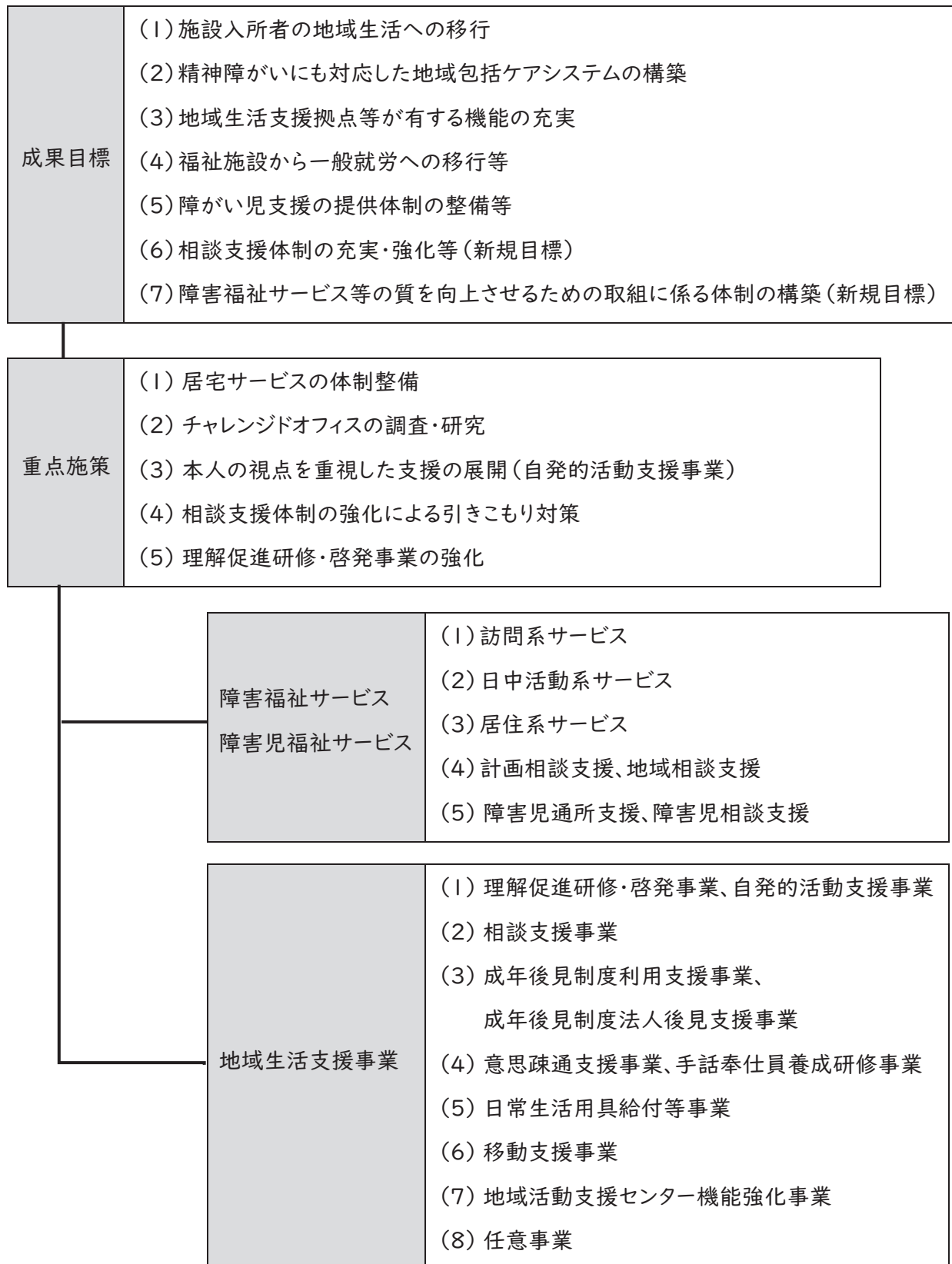
基本目標3

地域一体でのまちづくりを目指します

地域が一体となって、多様な支えあいの理解や活動、交流をうながすとともに、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の普及啓発をはじめ、誰もが安心して暮らせる安心・安全の環境づくりに取り組み、障がいのあるなしに関係なく、市民のすべてが互いを尊重しあいながら、住みなれた地域で安心して生活を送ることができるまちづくりを推進します。



施策の体系



施策の展開

成果目標

(1) 施設入所者の地域生活への移行

前期計画は達成できませんでしたが、国の基本指針に即し、令和元年度末(2019年度末)時点施設入所者 54 人のうち 4 人が令和 5 年度末(2023 年度末)までに地域生活へ移行することを目指します。また、施設入所者の削減については、1 人削減することを目指します。目標達成のため、進捗状況を把握した上で富津市障害者総合支援協議会に報告するとともに、関係機関と連携し地域移行の体制整備が図られるよう努めていきます。

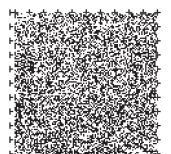
項目	成果目標	令和元年度末 (2019 年度末) 施設入所者数	富津市の目標値 令和 5 年度末 (2023 年度末)
地域生活移行者数	令和元年度末(2019 年度末)時点 の施設入所者の 6%以上	54 人	4 人
施設入所者数	令和元年度末(2019 年度末)時点 の施設入所者の 1.6%以上削減	54 人	53 人

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

君津地域 4 市で協議した結果、君津市・富津市・袖ヶ浦市の 3 市共同で精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場となる「君津市・富津市・袖ヶ浦市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議(仮称)」を令和 3 年度(2021 年度)に設置し、順次目標設定等の取り組みを進めていく予定です。

なお、長期入院患者の地域移行や地域定着支援等については、千葉県目標を踏まえつつ、地域生活への移行のための基盤整備や相談支援・就労支援等の充実、居住の場の確保、障がいへの理解促進の啓発などを通じて精神障がいのある人が地域で安心して暮らせるための取り組みの充実に努めることとして、目標値は設定しません。

項目	目標値
精神病床から退院後 1 年以内の地域での平均生活日数 316 日以上	県設定項目
精神病床における 1 年以上長期入院患者数	県設定項目
精神病床における早期退院率	県設定項目



(3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実

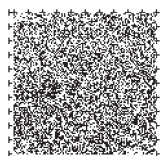
地域生活支援拠点を令和 3 年度(2021 年度)に整備する計画とします。整備後は速やかに活動計画と目標を立案・設定し、自立等に関する相談や、1人暮らし・グループホームへの入居等の体験の機会と場の提供、緊急時の受け入れ態勢の確保、人材の確保・養成・連携等による専門性の確保、サービス拠点の整備や地域の体制づくり等、自立を希望する人への各種支援を進めます。

項目	成果目標	富津市の目標値		
		令和3年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
地域生活支援拠点 設置数	1 箇所以上	1 箇所	—	—

(4) 福祉施設から一般就労への移行等

本市の産業特性を活かし、農福連携事業、又は農林漁業の第6次産業化の取り組みにおける障がい者雇用の創出等の検討を進めます。また、雇用する側への支援として、富津市障害者総合支援協議会の就労支援部会において、障がい者雇用に関する企業向けの研修などを実施していきます。

項目	令和 5 年度(2023 年度) 成果目標	令和元年度 (2019 年度) 実績	富津市の目標値 令和 5 年度末 (2023 年度末)
就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	令和元年度(2019 年度) 実績の 1.27 倍以上	7 人	10 人
就労移行支援事業を通じた一般就労への移行者数	令和元年度(2019 年度) 実績の 1.30 倍以上	3 人	4 人
就労継続支援A型事業を通じた一般就労への移行者数	令和元年度(2019 年度) 実績の 1.26 倍以上	0 人	1 人
就労継続支援B型事業を通じた一般就労への移行者数	令和元年度(2019 年度) 実績の 1.23 倍以上	4 人	5 人
就労移行支援事業等を通じた就労定着支援事業の利用率	70%以上	14% (1/7)	70%以上
就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所の割合	70%以上	—	70%以上



(5) 障がい児支援の提供体制の整備等

君津圏域に設置済みの「きみつ愛児園」において児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業を実施しており、今後もこれを維持すること、また、重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所については、安定した事業所運営が実施されるよう支援していきます。一方、放課後等デイサービスのサービスの充実への要望が高いことから、事業者と協議しながら整備を進めます。

項目	令和5年度末 (2023年度末) 成果目標	富津市の目標値 令和5年度末 (2023年度末)
児童発達支援センターの設置	1箇所以上	1箇所
保育所等訪問支援体制	整備	整備
重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所	1箇所以上	1箇所
重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所	1箇所	1箇所
医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場	設置	設置
医療的ケア児等に関するコーディネーター	配置	配置

(6) 相談支援体制の充実・強化等(新規目標)

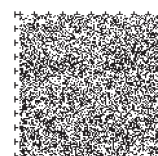
令和3年度(2021年度)に相談支援の中核的役割を担う基幹相談支援センターを開設し、取り組みを開始します。

項目	富津市の目標値
総合的・専門的な相談支援の実施	基幹相談支援センターの設置
地域の相談支援体制の強化を実施する体制の確保	

(7) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取り組みに係る体制の構築(新規目標)

障害者総合支援法の理念や具体的内容を理解すると共に、障害福祉サービス等の利用状況を把握し、障がいのある人等が真に必要とする障害福祉サービス等を提供することができるよう質の向上を図ることを目的に、取り組みを強化していきます。

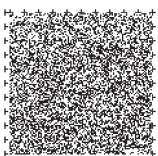
項目	富津市の目標値
障害福祉サービス等の質を向上するための取組を実施するための体制構築	情報共有・研修の場の設置



(8) 発達障がい者等に対する支援

ペアレントメンターの資格取得者を増やすこと及びピアサポート活動の周知のため、積極的な広報活動に取り組めます。

項目	活動指標(富津市の計画値)		
	令和3年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数(人/年)	10	20	20
ペアレントメンターの人数(人)	3	4	5
ピアサポートの活動への参加人数(人/年)	—	2	4



重点施策

本計画においては、基本目標、並びに成果目標の達成のため、前期計画の成果や課題、アンケート調査・ヒアリング調査の結果等を踏まえ、次の5つの施策をいきいきふっつ障がい者プランにおける重点施策と位置付け、取り組みを強化していきます。

(1) 居宅サービスの体制整備

地域生活への移行を可能とするためには、何よりもまずその支援体制の整備が必要です。前期計画期間中、地域へ移行する人が現れなかったのも、地域での生活を支えるサービス基盤が不十分であったことが大きな要因としてあげられます。

そこで、本計画では、まずは地域での生活を可能とするための居宅サービスの充実を図り、地域で暮らしていくことへの不安感をできるだけ低減するように努めます。

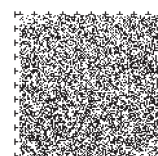
項目	令和2年度末 (2020 年度末)	令和5年度末 (2023 年度末) 目標
市内の居宅介護サービス事業者数	7	9
市内の重度訪問介護サービス事業者数	7	9
市内の訪問入浴サービス事業者数	0	2

(2) チャレンジドオフィスの調査・研究

アンケート調査では、特に、精神障がいや知的障がいの人を中心とした就労ニーズが高いことが明らかになりました。本市では、前期計画の成果目標に掲げた一般就労移行者数は計画値を上回る成果を上げましたが、まだまだ民間企業等への就労が十分とは言えないのが実情です。

そこで、ヒアリング調査で提案を受けた障がいのある人の就労支援を一層強化するため、市が障がいのある人を率先して雇用し、行政業務を障がいのある人と市職員が一緒に遂行しながら、民間企業等への就労を目指す「チャレンジドオフィス」の調査・研究を進めます。

項目	令和 5 年度末 (2023 年度末) 目標
チャレンジドオフィスの調査・研究	結論



(3) 本人の視点を重視した支援の展開(自発的活動支援事業)

障がいのある人が自立した暮らしを営むことができるようになるためには、障がいのある人にとっての社会的障壁を取り除くことが必要であり、そのためには、障がいのある人の視点を一層重視したまちづくり、地域づくりをさらに進めていくことが重要となっています。そこで、障がいのある人やその家族が中心となって集まり、自らの体験や希望、必要としている支援等について語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、あるいは暮らしやすい地域のあり方を一緒に考える場を設置し、そこでの意見を実際の支援やサービスの展開に繋げる仕組みを作ります。

項目	令和3年度 (2021年度) 目標	令和4年度 (2022年度) 目標	令和5年度 (2023年度) 目標
本人や家族と語り合う場の開催(回/年)	1	2	3

(4) 相談支援体制の強化による引きこもり対策

アンケート調査で明らかとなった引きこもりの心配のある人への対策を講じるための取り組みを開始するためには、まずは実態の把握に努める必要があります。

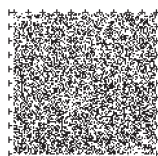
そこで、基幹相談支援センターや地域での身近な相談相手でもある区長や民生委員等との連携体制の構築を目指します。

項目	令和5年度末(2023年度末)目標
連携体制を構築している区の数(区)	107

(5) 理解促進研修・啓発事業の強化

障がいへの理解を深めることは、障がい福祉政策の根幹となる重要な取り組みです。アンケート調査では、現在もおお3割近くの方が障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをした経験があると回答しており、ヒアリング調査でも障がいへの理解がなお不十分であるとの指摘を受けています。障がいへの理解促進・啓発事業を更に強化していく必要があります。そこで、富津市障害者総合支援協議会権利擁護部会と連携し、部会が開催している勉強会「あったかふつつエンジョイトーク」への参加者の増加を目標に取り組みを強化します。また、障がいへの理解を深めるための市内の学校への福祉教育プログラム提供も随時行っていきます。

項目	令和3年度 (2021年度) 目標	令和4年度 (2022年度) 目標	令和5年度 (2023年度) 目標
あったかふつつエンジョイトーク参加者数(人/年)	40	50	60

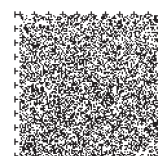


障害福祉サービス・障害児福祉サービス一覧

障害福祉サービス

障害者総合支援法

指定障害福祉サービス	訪問系サービス 居宅介護（ホームヘルプ） 重度訪問介護 同行援護 行動援護 重度障害者等包括支援	地域生活支援事業	理解促進研修・啓発事業 自発的活動支援事業 相談支援事業 成年後見制度利用支援事業 成年後見制度法人後見支援事業 意思疎通支援事業 日常生活用具給付等事業 手話奉仕員養成研修事業 移動支援事業 地域活動支援センター機能強化事業 生活ホーム事業（任意事業） 知的障害者職親委託制度（任意事業） 日中一時支援事業（任意事業） 社会参加促進事業（任意事業） 巡回支援専門員整備事業（任意事業） 訪問入浴サービス事業（任意事業） 重度障害者等就労支援特別事業（任意事業）
	日中活動系サービス 短期入所（ショートステイ） 療養介護 生活介護（デイサービス） 自立訓練（機能訓練） 自立訓練（生活訓練） 宿泊型自立訓練 就労移行支援 就労継続支援（A型） 就労継続支援（B型） 就労定着支援		
	居住系サービス 施設入所支援 自立生活援助 共同生活援助（グループホーム）		
	計画相談支援、地域相談支援 計画相談支援 地域移行支援 地域定着支援		



障害児福祉サービス

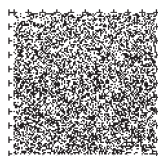
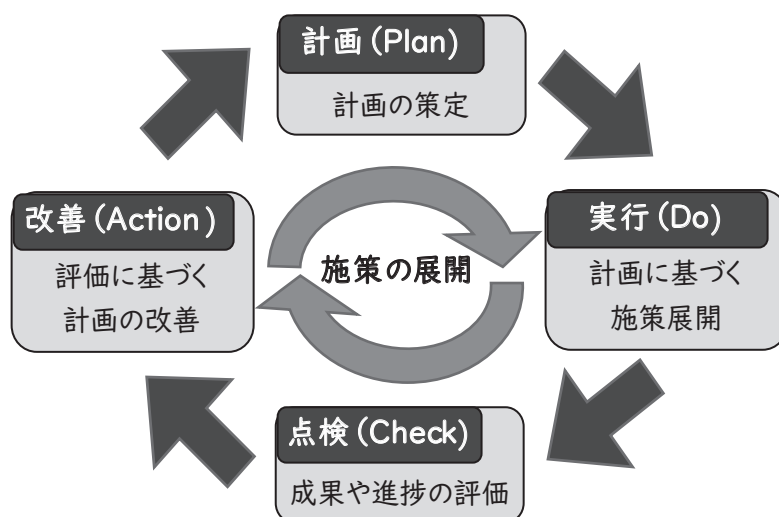
児童福祉法

障害児 通所支援	児童発達支援 医療型児童発達支援 放課後等デイサービス 居宅訪問型児童発達支援 保育所等訪問支援	障害児相談支援	
		障害児 入所支援	福祉型障害児入所施設 医療型障害児入所施設 (いずれも県の事業)

計画の達成状況の点検及び評価

いきいきふっつ障がい者プランは、掲げた施策及び事業を計画的かつ効果的に実行するためにPDCAサイクルに基づき、取り組みを進めます。障害福祉サービス・障害児福祉サービスの利用状況のほか、成果目標や重点施策について、富津市障害者総合支援協議会と連携して定期的に点検・評価を行い、その結果を広く市民に公表します。

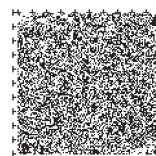
そして、評価結果等を踏まえ、計画期間中においても社会経済環境が大きく変化するなど、必要と認められるときには、計画の見直しを行います。

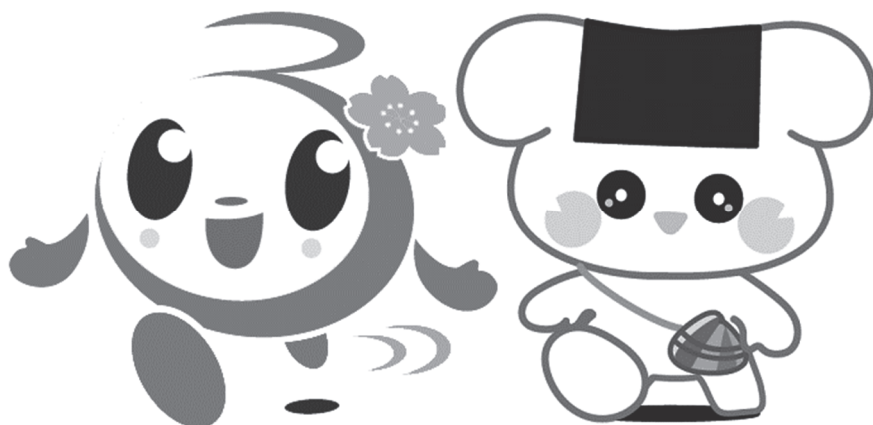


いきいきふっつ障がい者プラン 概要版
第6期障害福祉計画(第2期障害児福祉計画)
【令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)】

令和3年(2021年)3月

発 行 千葉県富津市健康福祉部福祉の窓口課
〒293-8506 千葉県富津市下飯野 2443 番地
TEL(0439)80-1260、FAX(0439)80-1355





富津市おもてなしキャラクター
ふつつん

富津市障害者総合支援協議会キャラクター
のりちゃん